

# 2021年12月期 決算説明資料



内外トランスライン株式会社

# 決算概要

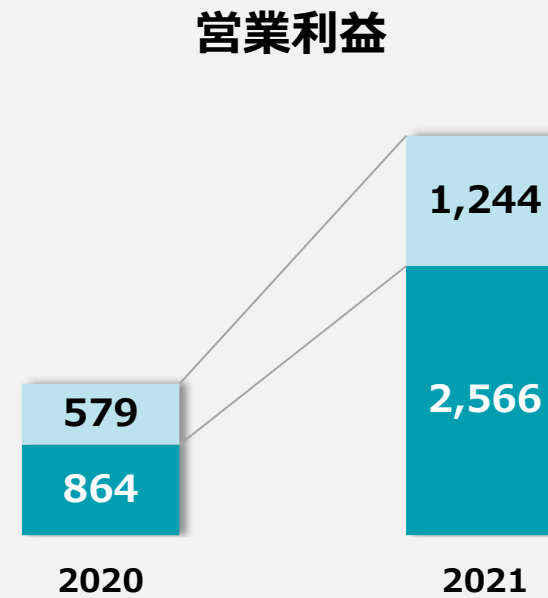
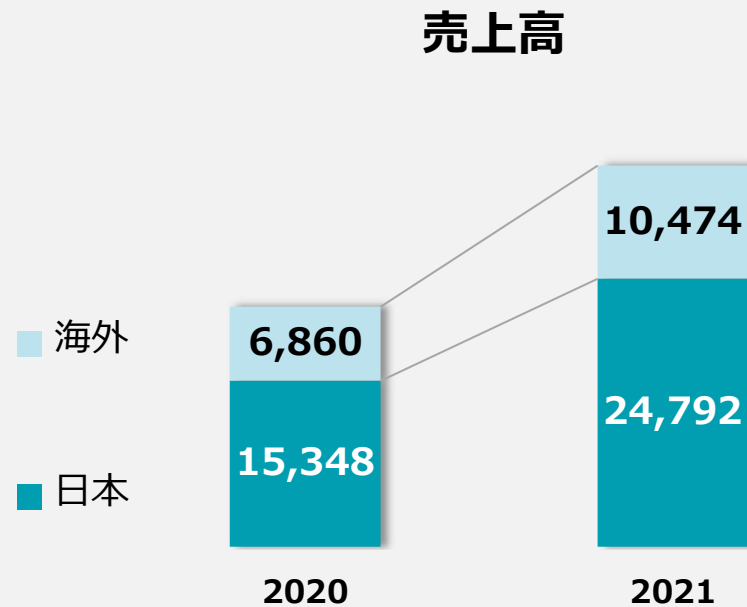
# 連結実績

(百万円)

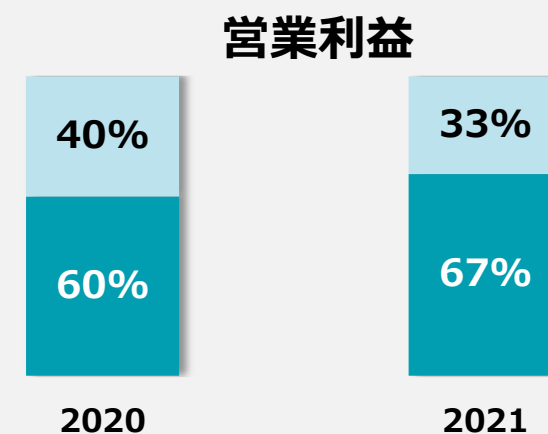
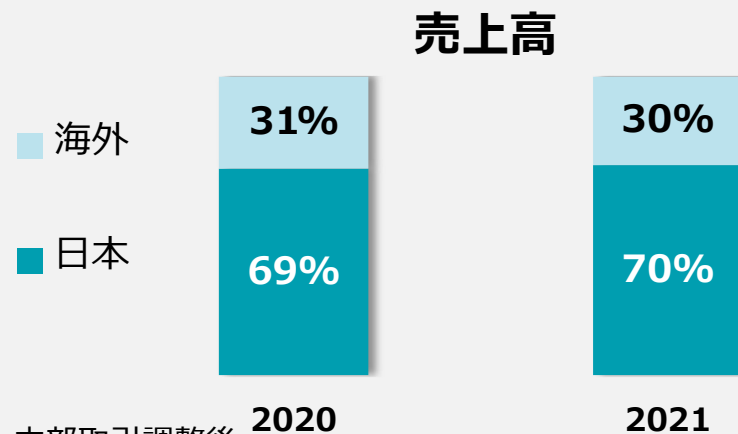
	2020	2021	対前年 増減率	2021 期初業績予想	2021 修正業績予想 (12月15日)
売上高	22,209	35,266	58.8%	24,000	34,700
営業利益	1,411	3,808	169.9%	1,620	3,720
経常利益	1,484	3,922	164.2%	1,680	3,820
親会社株主帰属 当期純利益	850	2,783	227.2%	1,180	2,610

# セグメント別売上高・営業利益

(百万円)



## 海外/日本のセグメント比率

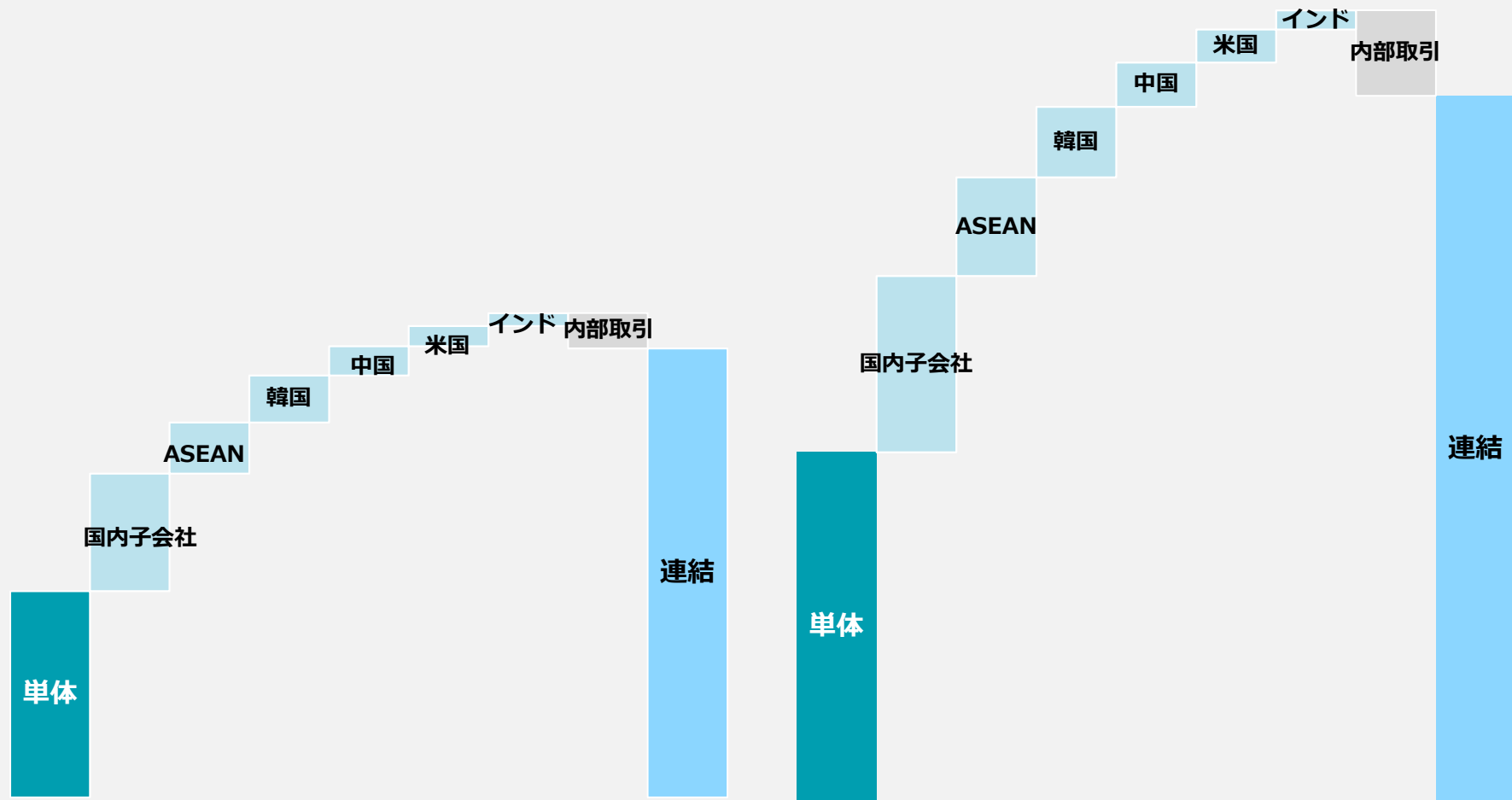


\* 内部取引調整後

# 当社グループ売上高の割合

2020

2021



\* 単純合算

# グループ業績ハイライト

## 単体

海上コンテナスペースの確保に注力

利益率の高い輸出混載貨物や売単価の高い地域へのフルコンテナの取扱数量が増加したため増収増益。

## 国内子会社

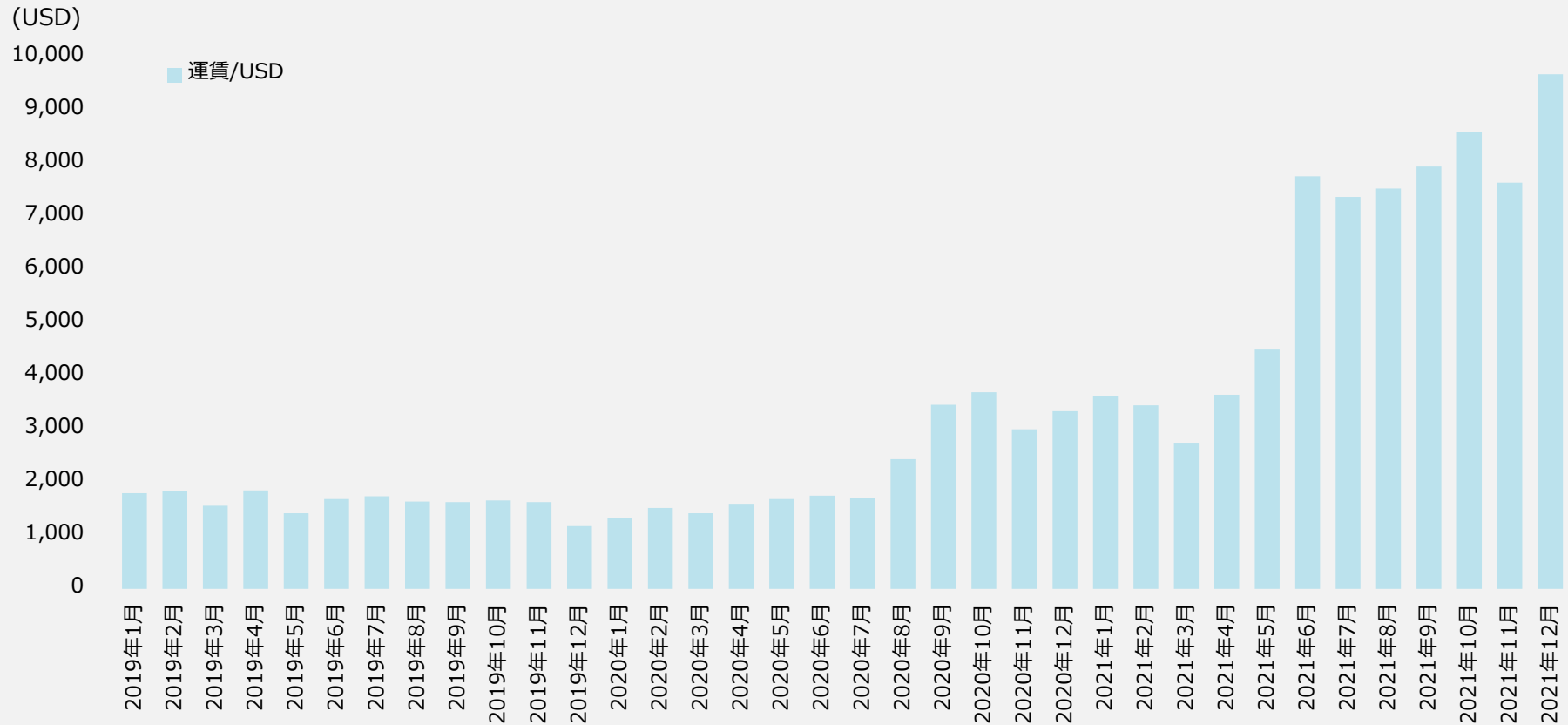
<ユーシーアイ>  
海上輸送する重量物が航空にシフトとなるなど、航空輸出の取扱が増え、新規取引を獲得したことで増収増益。

<フライングフィッシュ>  
食品輸入の取扱量が順調に推移する中、輸入運賃の高騰、フルコンテナによる食品輸出が増加したことにより増収増益。

## 海外子会社

各現地法人で日本からの混載貨物が増加。更に取組んでいるフォワーディング案件や航空貨物案件を順調に取込んだ上、韓国をはじめとする倉庫業で安定した収益を確保し、増収増益。

## 北米航路月別海上運賃の推移(横浜/20ft)



## 横浜/ロサンゼルス航路コンテナ運賃動向

2022年1月27日

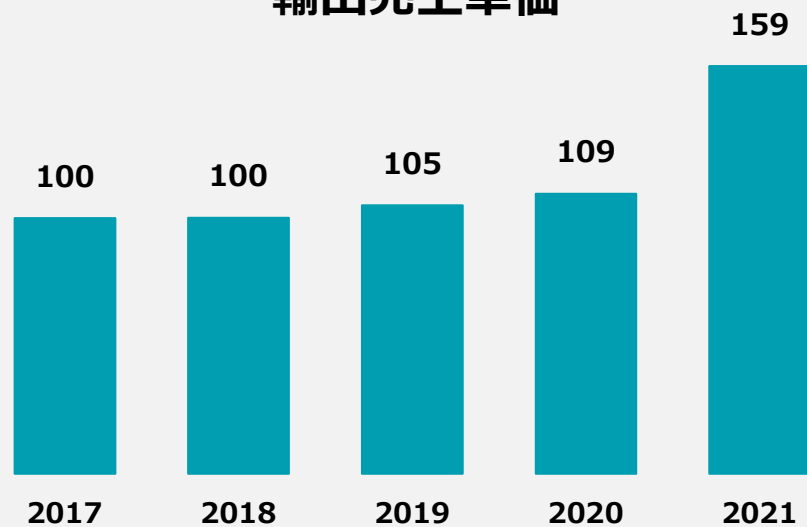
年	サイズ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	20ft	1,330	1,520	1,420	1,600	1,690	1,750	1,710	2,440	3,460	3,700	3,000	3,340
	40ft	1,510	1,760	1,750	1,970	2,130	2,130	2,210	2,710	4,380	4,870	3,930	4,800
2021年	20ft	3,620	3,450	2,750	3,650	4,500	7,760	7,370	7,530	7,940	8,600	7,640	9,680
	40ft	5,100	4,850	4,350	4,910	5,960	9,840	8,890	9,080	9,700	10,240	9,640	11,520

※(公)日本海事センター：コンテナ運賃動向資料を基に当社にて作成

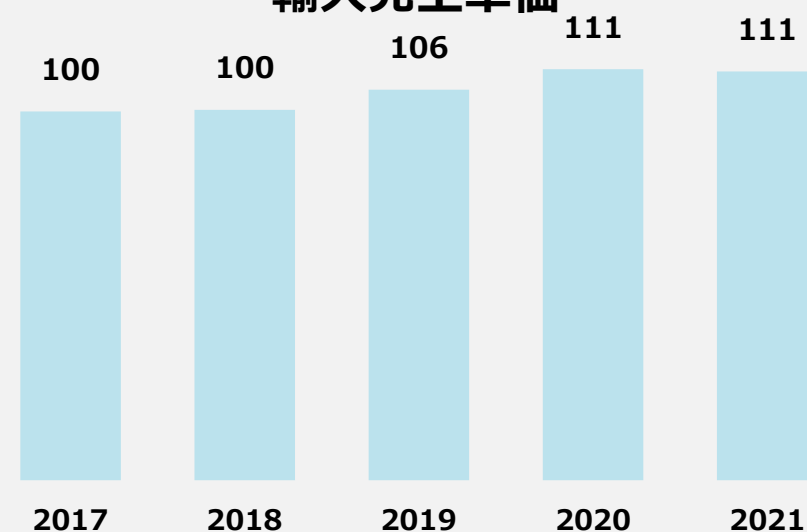
# 単体混載売上単価・数量推移

※2017年を100とする

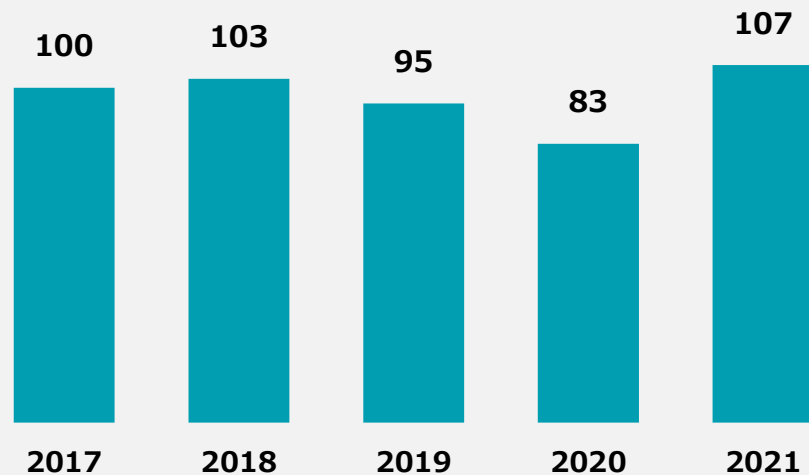
## 輸出売上単価



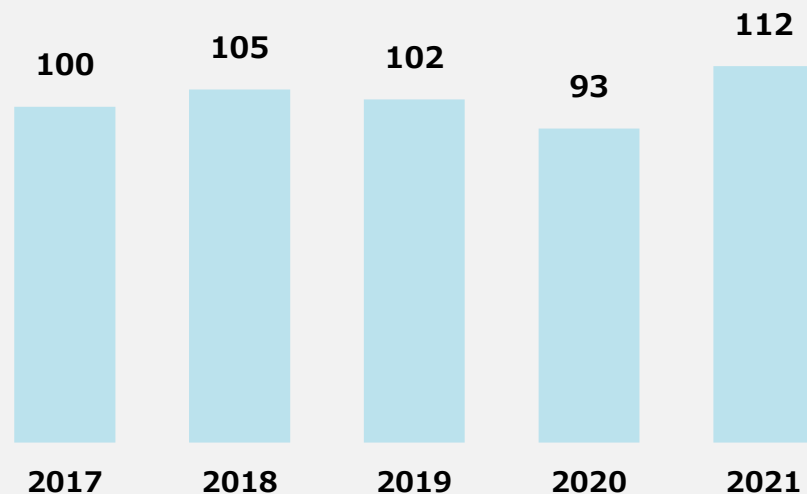
## 輸入売上単価



## 輸出数量



## 輸入数量



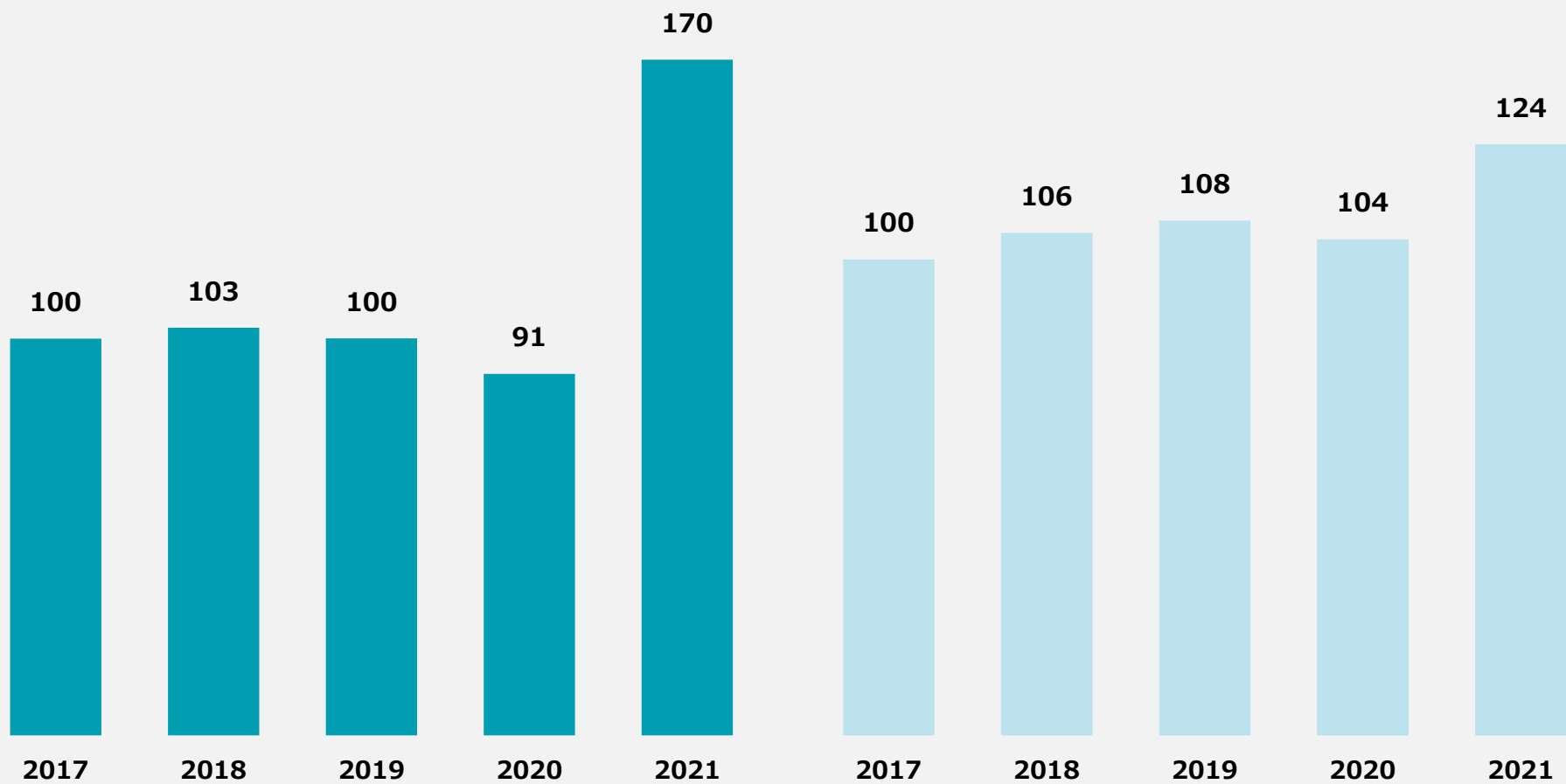


# 単体混載売上高推移

※2017年を100とする

輸出

輸入



# 連結貸借対照表の概要(前期末比)

(百万円)

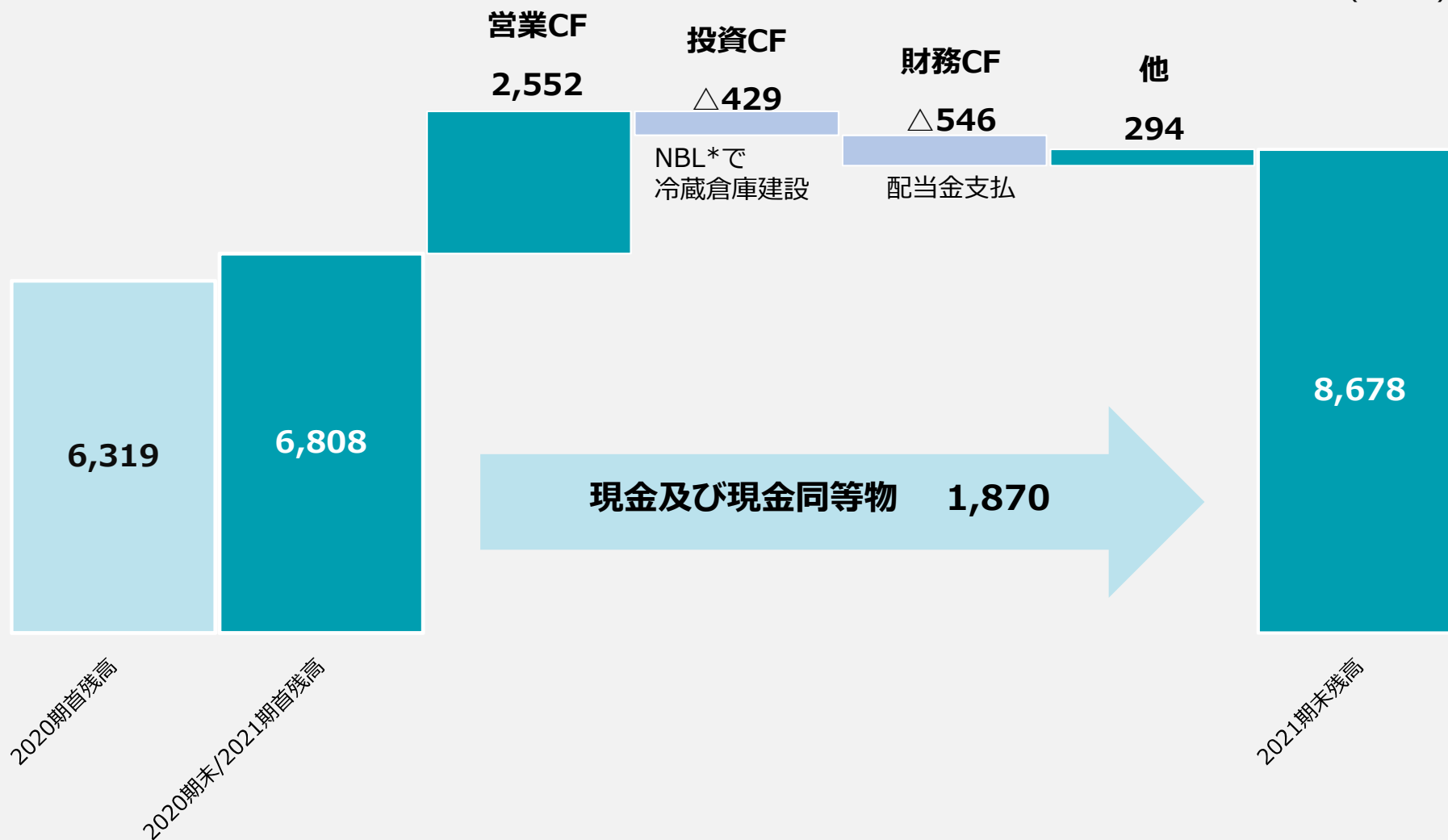
<主な変動要因>		総資産 16,752 ( + 3,968 )		<主な変動要因>	
<b>資産</b> ・ 現金及び預金 +1,870 ・ 売掛金 +1,562  ・ 建物及び構築物 +396		<b>流動資産</b> 12,995 (+3,702)	<b>流動負債</b> 3,409 (+1,082)	<b>負債</b> ・ 買掛金 +519 ・ 未払法人税等 +623	
			<b>固定負債</b> 643 (+49)		
			<b>純資産</b> 12,700 (+2,835)	<b>純資産</b> ・ 利益剰余金 +2,403 ・ 為替換算調整勘定 +354	
		<b>固定資産</b> 3,757 (+265)			
		<b>自己資本比率 71.6%</b>			

( ) 内は前期末比増減

# 連結キャッシュフロー計算書の概要

2021

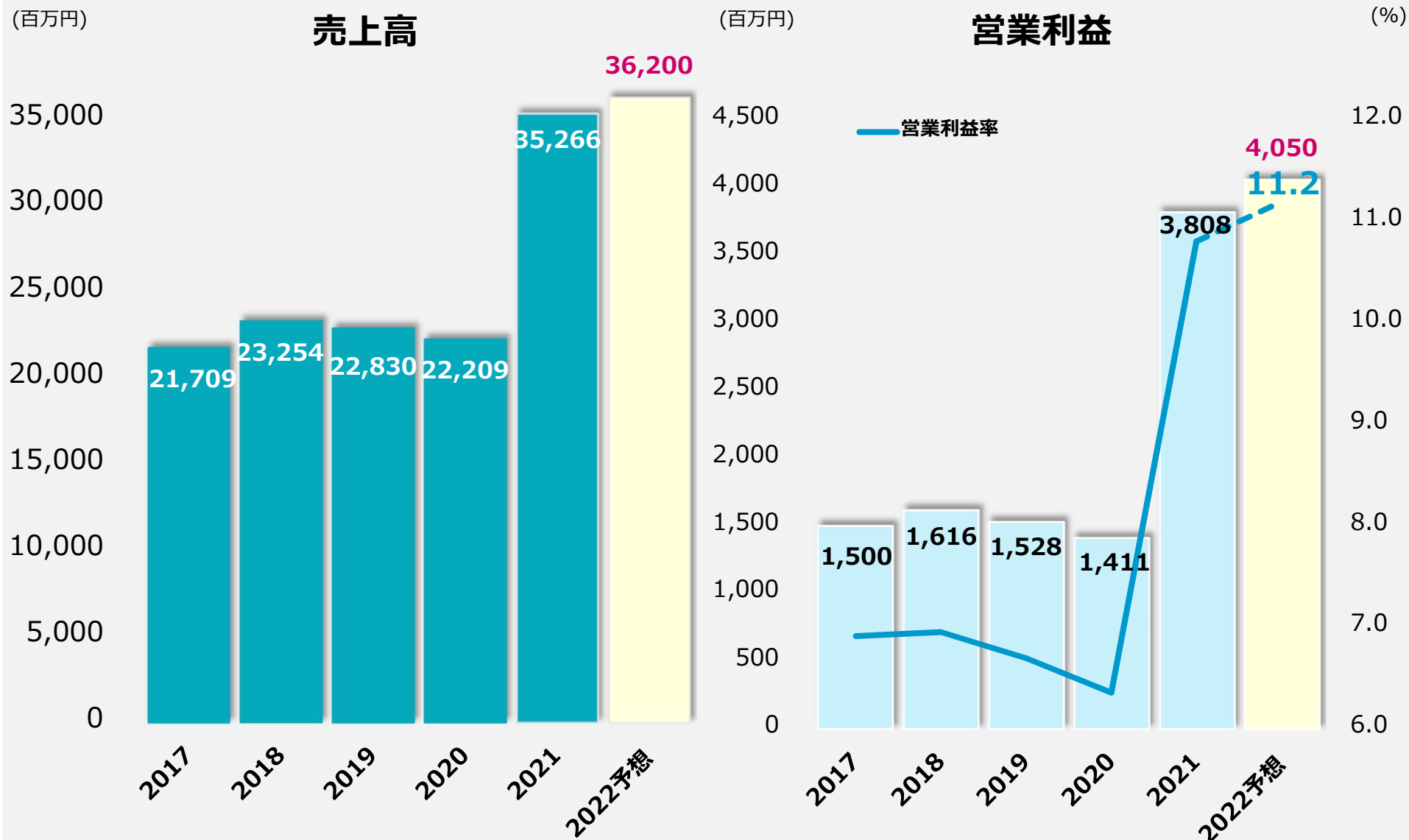
(百万円)



NBL\* = 内外釜山物流センター株式会社

# 今期業績予想

# 連結売上高・利益予想



# 第4次中期経営計画 重要経営指標(KPI)

	2022年	2021年
売上高	300億円達成	352億円
営業利益率	7.0%	10.8%
ROE	14.0%	26.3%

\* 2021年期中において達成したため数値目標の取扱いは検討中

# 営業スタイルの多様化

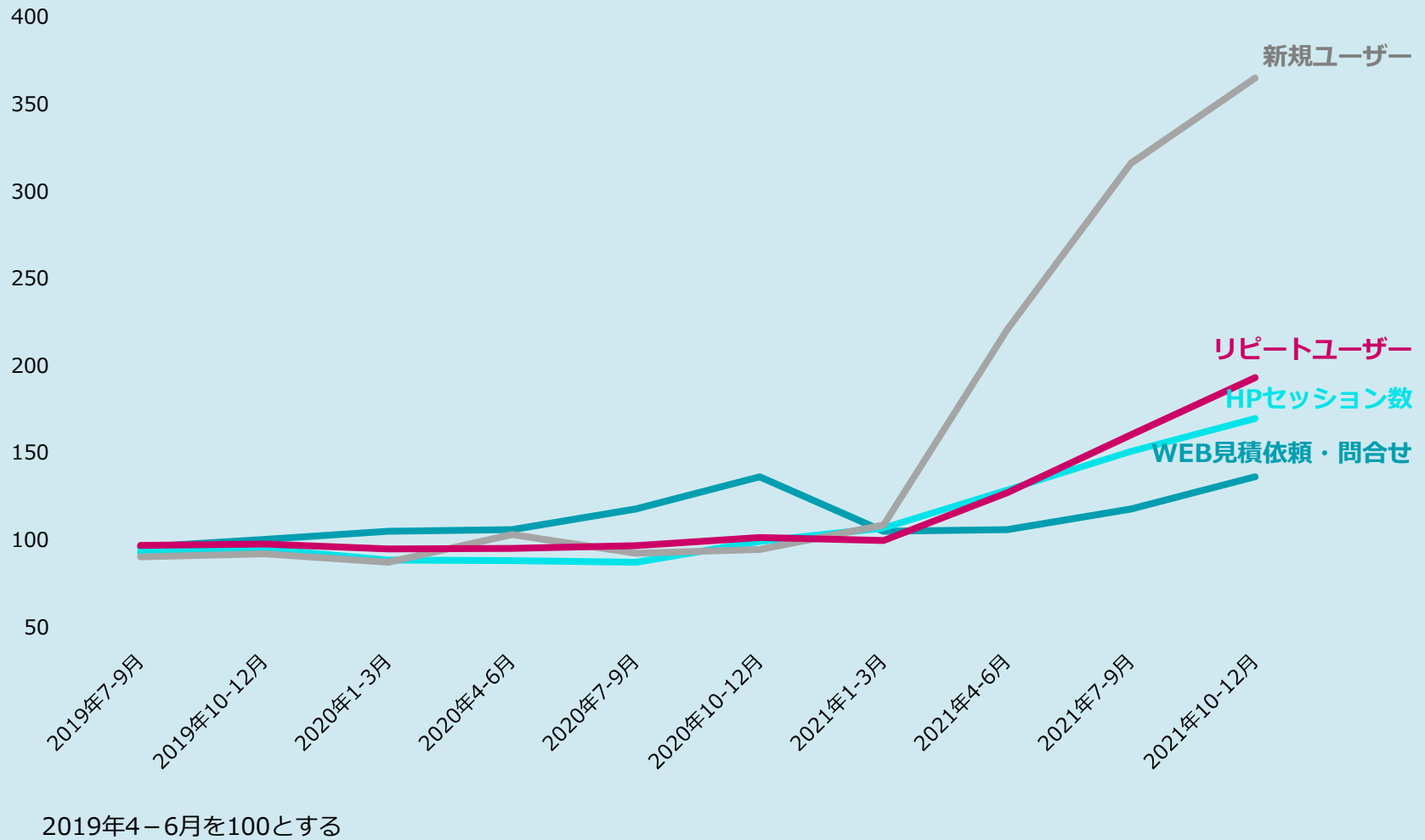
## 従来の訪問営業に加え、非接触型営業の強化・推進

- ・ デジタルパンフレットの充実
- ・ オンライン会議システムによる多拠点・遠隔地との商談
- ・ 当社HPから24時間アクセス可能な見積り・BOOKING機能



# WEBマーケティングの効果

## ホームページの改修によるアクセス数の増加





# 事業領域の拡大

## 米国・香港・シンガポール

- ・食品関連のフォワーディング



## タイ・インドネシア

- ・工業製品のフルコンテナ



## 日本

- ・フォワーディングチーム設置
- ・酒類販売免許を取得



## 韓国・インド

- ・韓国3カ所、インド12カ所の倉庫事業



## 中国

- ・中国国内での日系企業の商品を保管、配送



# 環境にやさしい新梱包用資材の一般販売

物流企業における持続可能な開発目標 (SDGs) として保冷梱包で最も多く使用されている、発泡スチロールをクールダンへ転換し、化学物質の破棄物の発生を抑え、海洋プラスチックごみの放出を無くし環境負荷の低減する事を目標としています。



バーベキューなどの  
アウトドアで大活躍  
反射断熱保冷段ボール箱  
「クールダン」  
省スペース!! 大容量!

保冷剤と一緒に  
ご利用ください

組み立てて簡単・たためて簡単  
かさばらないクールボックス!



2021年10月 輸出EXPO出展時の様子



# SDGsへの取り組み

当社は経営理念のもと  
SDGsと行動規範を関連付け  
グループ経営を推進しております  
(経営理念・行動規範 2006年7月制定)



\*内外トランスライングループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

## 当社の行動規範(抜粋)とSDGs

私たちは高い倫理と協  
調の精神を持って行動  
します

当社  
部長以上の女性比率  
20%

- ・女性活躍推進
- ・シニア雇用
- ・育児・介護休業制度



私たちは会社の仕事を  
通じて社会への貢献を  
果たします

- ・地域社会の発展・活性化・次世代育成
- ・環境負荷低減



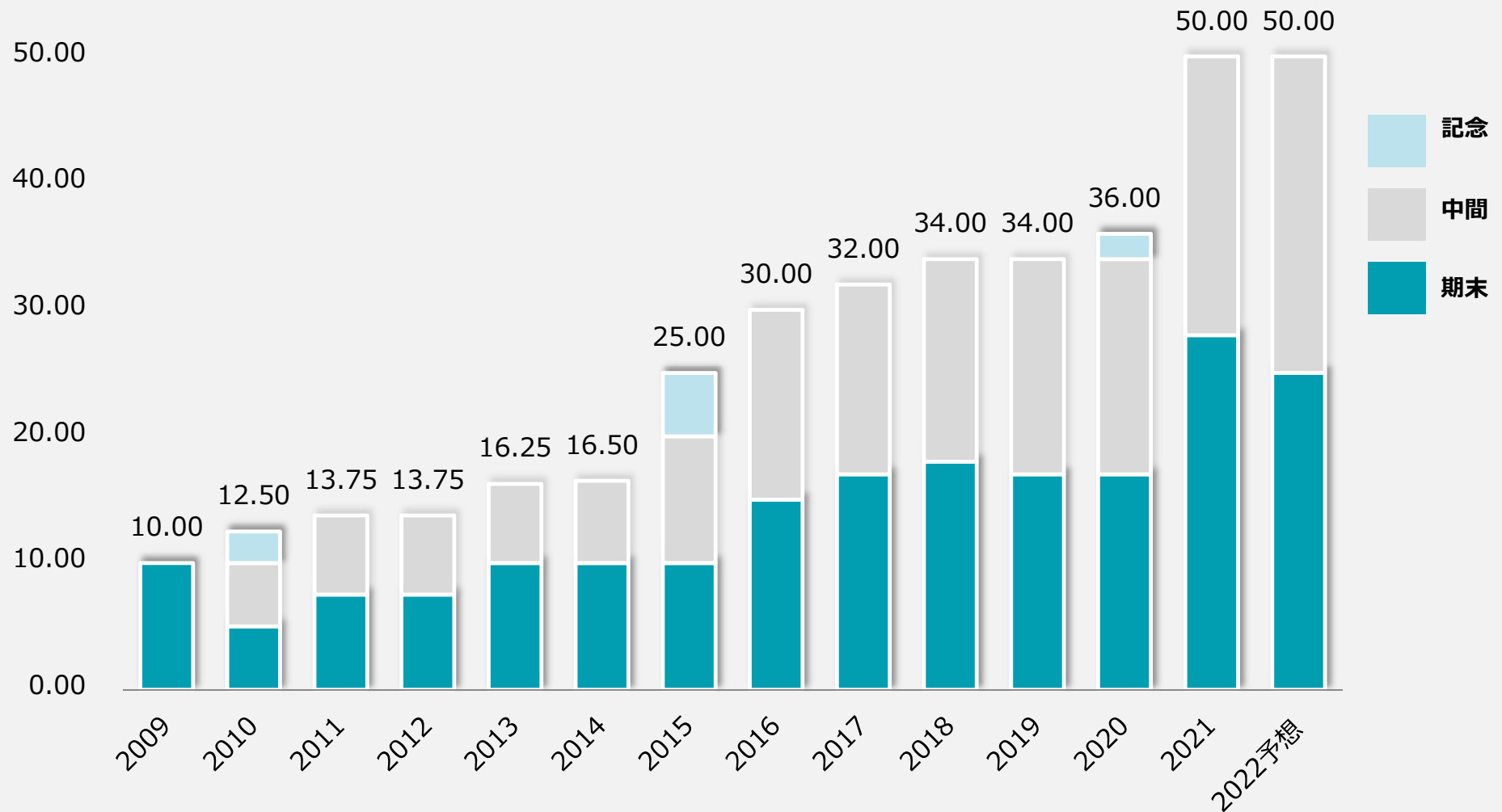
私たちはたゆまぬ努力  
により自己の成長を図  
り、社会を発展させて  
ゆきます

- ・社会・経済の発展に貢献



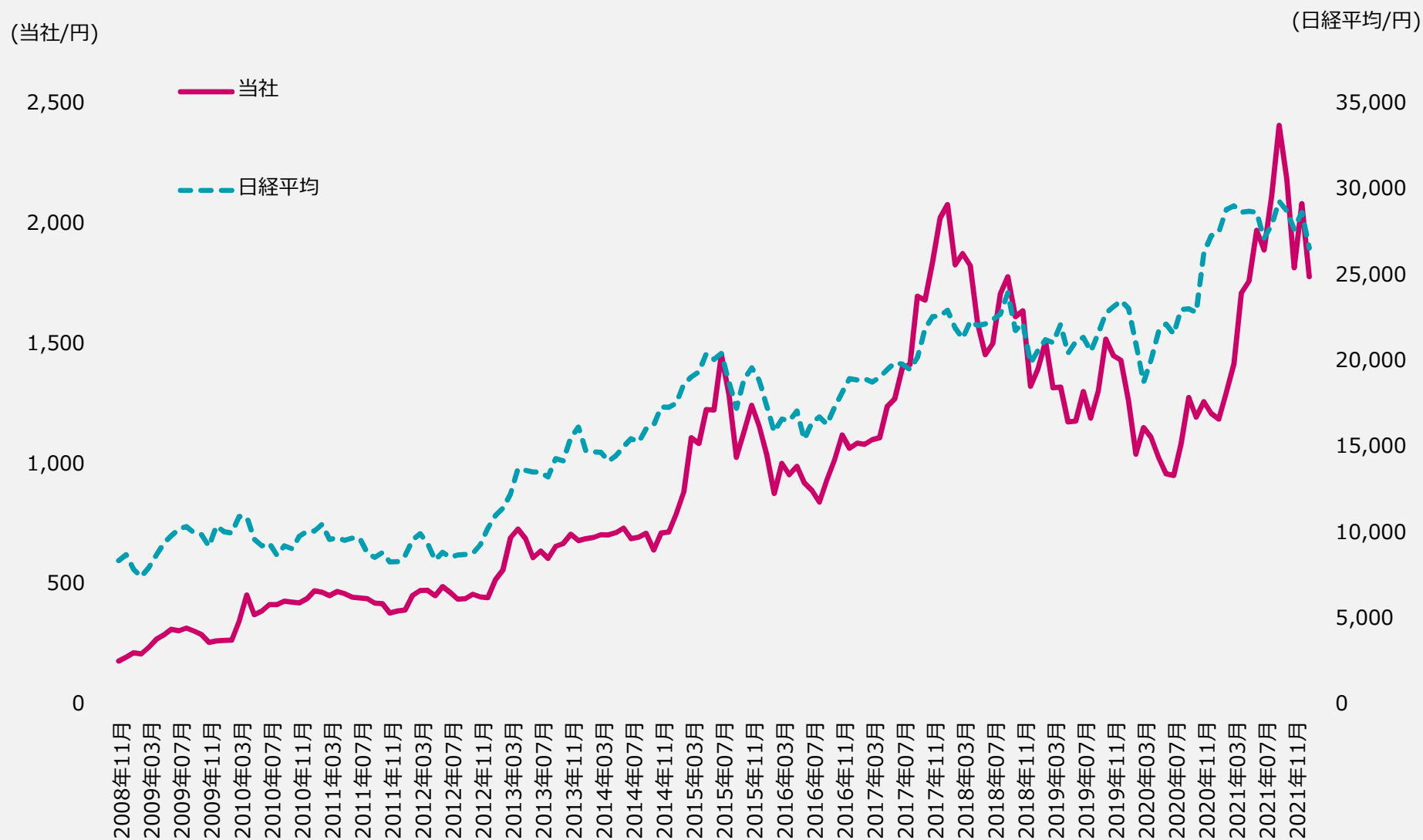
# 配当金の実績と予想

(配当金/円)



※2012年と2015年6月末日を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示

# 当社株価の推移



出典：Yahoo!JAPANファイナンスを基に当社作成（株価は月末終値）

ご清聴ありがとうございました



**内外トランスライン株式会社**  
**NAIGAI TRANS LINES**

お問合せ先  
取締役 IR担当 三根 英樹

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4713

URL <https://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。